

株主の皆様へ



連結財務ハイライト

(単位:億円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減または増減率
売上高	9,557	9,284	△ 2.9%
営業利益	469	229	△ 51.1%
経常利益	632	403	△ 36.3%
当期純利益	403	235	△ 41.7%
1株当たり配当金	28円	30円	2円

目次

連結財務ハイライト	1
株主の皆様へ	2
連結業績の概況	3
事業別の概況	4
トピックス	6
連結決算	
連結貸借対照表	8
連結損益計算書	9
中間配当について	
連結株主資本等変動について	
株式の状況	10
会社の情報	10
株主メモ	裏表紙

この中間報告書に含まれる業績予想は、現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、経済情勢・為替相場の変動等に関わるリスクや不確実性により、予想と大きく異なる可能性があります。

表紙の写真は、当社高浜工場TMHGテクニカルセンターの太陽光発電システムおよび人材育成の場面です。

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、豊田自動織機ならびに豊田自動織機グループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。第131期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

世界経済を取り巻く環境が大変厳しいなかで、当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から9月30日までの6ヵ月間）の当社の業績は、減収減益を余儀なくされました。

今後の世界経済の見通しにつきましても、世界的金融危機の克服に向けた各国政府の具体的な行動が期待されますが、実体経済の先行きは不透明さを増しており、景気は一層厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況ではありますが、中間配当金につきましては、前期の中間配当金に比べ2円増配の、1株につき30円とさせていただきます。

当社グループとしましては、「時代は変わった」という認識に立ち、従来にはない発想も取り入れながら、商品開発から販売・サービスまで積極的に取り組むとともに、全ての面において総点検を行うなど、経営全般にわたる効率化を迅速かつ徹底的に推進し、足元を固めてまいります。

さらに、中長期的には、グローバル連結経営を強化し、総合力を発揮できる体制をつくりあげるとともに、その基礎となる職場力の強化や、グループの将来を担う自立した人材の育成を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2008年11月

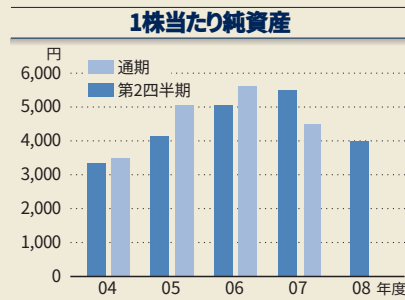
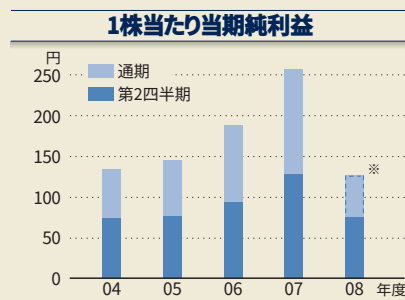
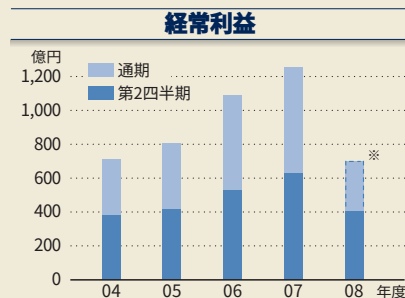
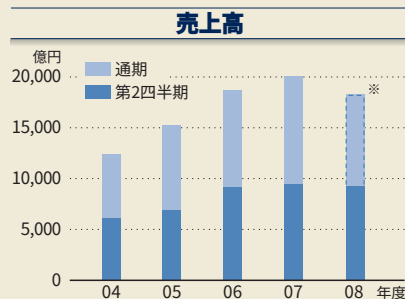
取締役会長 石川忠司 取締役社長 豊田鐵郎

連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から9月30日までの6ヵ月間）の経済情勢を顧みますと、日本経済は鋼材をはじめとする原材料価格の高止まりに加え、円高の進行などにより、輸出や民間設備投資が減少するなど企業部門の業績に一段と陰りが広がりました。また、雇用情勢が引き続き悪化するなか個人消費も停滞するなど、景気はますます厳しさを増しました。一方、海外では、サブプライムローン問題を背景とした金融・株式市場の混乱が実体経済に影を落としはじめるなかで、米国経済の減速に加え、ユーロ圏では経済成長率がマイナスに転じるなど、景気減速の広がりがみられる厳しい状況となりました。

このような厳しい環境のなかで、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を273億円（3%）下回る9,284億円となりました。利益につきましても、経常利益は前年同期を229億円（36%）下回る403億円となりました。また、1株当たり当期純利益は、前年同期を54円（42%）下回る75円、1株当たり純資産は、前期末を489円（11%）下回る3,994円となりました。

通期の業績につきましては、売上高1兆8,200億円、営業利益400億円、経常利益700億円、当期純利益400億円、1株当たり当期純利益128円を見込んでいます。なお、為替レートは、第3四半期以降、1USドル100円、1ユーロ135円を前提としています。



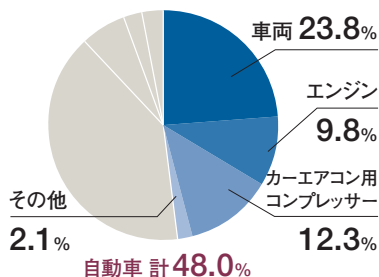
※ 2008年度通期については見込みです。

事業別の概況

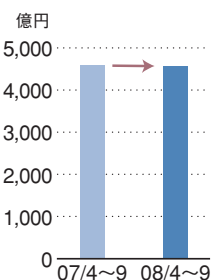
●自動車

Automobile Segment

【売上高構成比】



【売上高】



ヴィッツ



VD型
ディーゼルエンジン



レクサスLS600h搭載
電動コンプレッサー ES34



ACインバーター

自動車部門におきましては、売上高は前年同期を135億円（3%）下回る4,454億円となりました。

このうち車両につきましては、ヴィッツ・RAV4ともに減少したことにより、売上高は前年同期を68億円（3%）下回る2,214億円となりました。

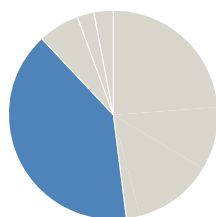
エンジンにつきましては、RAV4などに搭載されているAD型ディーゼルエンジンは減少しましたが、IMVシリーズ用KD型ディーゼルエンジンや、海外向けランドクルーザーに搭載されているVD型ディーゼルエンジンなどが増加し、売上高は前年同期を58億円（7%）上回る908億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、北米の自動車メーカーでの大幅な減産の影響を受けたことに加え、欧州・国内向けも減少したことにより、売上高は前年同期を150億円（12%）下回る1,137億円となりました。

● 産業車両

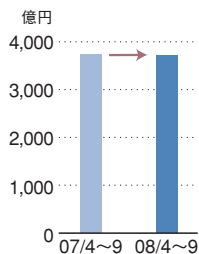
Materials Handling Equipment Segment

【売上高構成比】



産業車両 40.0%

【売上高】

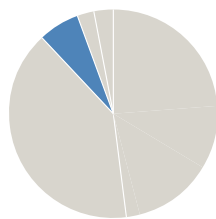
GENEIO カウンタータイプ
エンジンフォークリフトReflex リーチタイプ
バッテリーフォークリフト

産業車両部門におきましては、主力のフォークリフトは、欧州やBRICsなどで増加しましたが、北米では市場の冷え込みを受けて減少したことにより、トヨタブランド・BTブランドとも世界全体での販売台数は前年並みにとどまりました。また、売上高につきましては、高所作業車の販売減少および為替変動による影響などから、前年同期を55億円（1％）下回る3,718億円となりました。

● 物 流

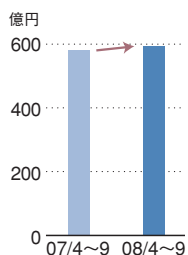
Logistics Segment

【売上高構成比】



物流 6.4%

【売上高】

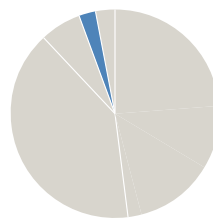


物流部門におきましては、集配金・売上金管理サービスや情報保管管理・集配サービスなどが堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を15億円（3％）上回る594億円となりました。

● 繊維機械

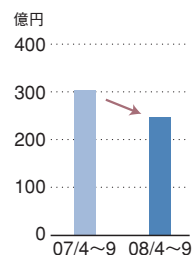
Textile Machinery Segment

【売上高構成比】



繊維機械 2.6%

【売上高】



繊維機械部門におきましては、主力であるエアジェット織機が中国向けで大きく減少したことにより、売上高は前年同期を63億円（21％）下回る244億円となりました。

≫フォークリフトグローバル生産累計200万台達成

2008年5月、トヨタブランドのフォークリフトがグローバル生産累計200万台を達成しました。

1956年より生産を開始し、1988年に米国でTIEMを立ち上げたことを皮切りに、海外生産を積極的に展開しました。1995年の累計100万台達成からわずか13年で200万台を突破しました。

今後も高い安全意識のもと、協力会社や海外生産拠点、高浜工場が一体となって、生産性や品質の向上をはかり、お客様にご満足いただける商品を提供していきます。



GENEO-B



GENEO-R

≫バッテリーフォークリフトをマイナーチェンジ

トヨタL&Fカンパニーは、1～3.5t積カウンタータイプAC制御バッテリーフォークリフト「GENEO-B」を2008年5月より、0.9～3.0t積リーチタイプAC制御バッテリーフォークリフト「GENEO-R」を8月より、マイナーチェンジし販売を開始しました。

GENEO-Bでは、後進時の安定した姿勢と後方視野を確保するリアピラーアシストグリップ（ホーンボタン付き）を新たに標準装備するなど、安全面でのさらなる充実をはかりました。

GENEO-Rでは、トラックなどへの過積載防止に役立つ簡易荷重計を装備。また、荷役作業時の手の挟み込み防止に役立つハンドプロテクターやスピードの出し過ぎを警告するオーバースピードアラームなど、安全に配慮した機能が標準装備しました。

≫特定特殊自動車排出ガス規制に対応

トヨタL&Fカンパニーは、エンジン式大型フォークリフト（10～24t積フォークリフト、18～43tコンテナスプレッダ車）をはじめ、特定特殊自動車排出ガス規制※に適合した産業車両4車種35種類の販売を、8月より順次開始しました。

また、4輪駆動スキッドステアローダーのジョブサン（5SDK（L）5～10）のフルモデルチェンジを実施し、特定特殊自動車排出ガス規制に適合したほか、操作性や騒音低減など商品力を向上し、9月より販売を開始しました。

今後も排出ガス規制へ順次対応するとともに、環境性能をさらに高めた新エンジンの開発を行うなど、環境への取り組みを確実に実施していきます。



ジョブサン

※2006年4月1日、特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（通称：オフロード法）が施行されました。
規制開始時期はエンジンの出力ごとに定められており、2008年9月1日に一部出力帯で規制が強化されました。

展示会



≫「ITMA ASIA+CITME2008」に出展

2008年7月、中国の上海市で開催された「ITMA ASIA+CITME2008（中国国際紡織機械展覧会）」に、エアジェット織機JAT710やリング精紡機RX240などを出展しました。

この出展を通し、当社商品の確かな信頼性と高い性能をアピールしました。

≫「国際物流総合展2008」に出展

2008年9月、東京ビッグサイトで開催された「国際物流総合展2008」に、SAS（System of Active Safety）※を搭載した主力製品であるフォークリフト「ジェネオシリーズ」やハイブリッドフォークリフト、海上コンテナ搬送用無人搬送車など多彩な商品を出展しました。

この出展を通し、お客様をはじめ多数の来場者の方に、当社商品の安全・環境や物流の効率化をご理解いただきました。



※フォークリフトの旋回時や高揚高荷役時に、優れた安定性を発揮し、転倒などによる事故の未然防止に貢献する当社独自のシステム。ジェネオシリーズに標準装備されています。

社会貢献

≫ボランティア支援センター「はあとふる」を開設

2008年7月、当社の社会貢献活動の拠点となるボランティア支援センター「はあとふる」を愛知県刈谷市に開設しました。「はあとふる」は、当社従業員をはじめ、地域の皆様に広くボランティア情報を発信していくとともに、ボランティア活動へのサポートや活動に関する学習の機会を提供するなど、これまで以上に積極的な活動を展開していきます。



連結決算

【連結貸借対照表】

(百万円未満切り捨て)

科 目	前期末 2008年3月31日現在	当第2四半期末 2008年9月30日現在
資産の部		
流動資産	595,612	586,658
現金及び預金	115,557	90,418
受取手形及び売掛金	244,035	231,367
有価証券	40,621	59,270
たな卸資産	124,633	126,351
その他	70,764	79,251
固定資産	2,369,972	2,227,963
有形固定資産	622,847	664,451
建物及び構築物	188,776	190,088
機械装置及び運搬具	266,347	289,038
その他	167,722	185,324
無形固定資産	149,685	137,370
投資その他の資産	1,597,439	1,426,141
投資有価証券	1,513,779	1,265,806
その他	83,660	160,334
合 計	2,965,585	2,814,621

科 目	前期末 2008年3月31日現在	当第2四半期末 2008年9月30日現在
負債の部		
流動負債	538,041	531,835
支払手形及び買掛金	214,084	184,710
短期借入金	52,326	65,837
コマーシャル・ペーパー	33,700	30,540
1年以内償還の社債	20,000	27,664
その他	217,929	223,082
固定負債	973,547	980,106
社債	230,766	227,344
長期借入金	185,513	177,771
繰延税金負債	482,787	388,402
退職給付引当金	47,102	45,228
その他	27,376	141,360
負債計	1,511,588	1,511,941
純資産の部		
株主資本	602,783	613,913
資本金	80,462	80,462
資本剰余金	106,184	106,180
利益剰余金	466,780	477,928
自己株式	△50,644	△50,657
評価・換算差額等	794,171	630,461
その他有価証券評価差額金	752,553	600,619
繰延ヘッジ損益	140	109
為替換算調整勘定	41,477	29,732
新株予約権	695	971
少数株主持分	56,345	57,333
純資産計	1,453,996	1,302,680
合 計	2,965,585	2,814,621

連結決算

【連結損益計算書】

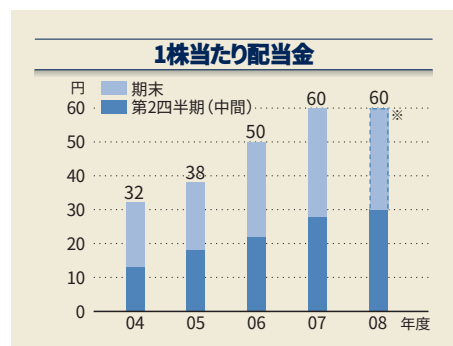
(百万円未満切り捨て)

科 目	前第2四半期 2007年4月 1日から 2007年9月30日まで	当第2四半期 2008年4月 1日から 2008年9月30日まで
売上高	955,760	928,470
売上原価	800,912	793,225
販売費及び一般管理費	107,887	112,270
営業利益	46,960	22,974
営業外収益	31,394	31,665
受取利息及び受取配当金	25,604	28,018
その他	5,790	3,647
営業外費用	15,094	14,326
支払利息	9,772	10,276
その他	5,321	4,049
経常利益	63,260	40,313
特別利益	5,863	—
税金等調整前四半期純利益	69,124	40,313
法人税、住民税及び事業税	24,112	14,002
法人税等調整額	842	992
少数株主利益	3,859	1,799
四半期純利益	40,309	23,518

≫中間配当について

2008年10月30日開催の当社取締役会決議により、2008年9月30日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載もしくは記録された株主または登録株主質権者に対し、次のとおり中間配当金をお支払いします。

中間配当金
1株につき30円
効力発生日ならびに支払開始日
2008年11月26日



※ 2008年度期末については見込みです。

≫連結株主資本等変動について (2008年4月1日～2008年9月30日)

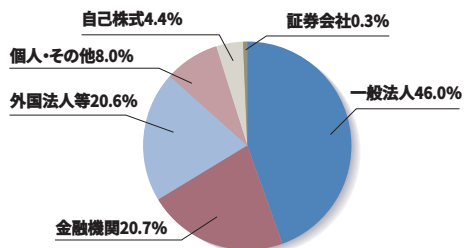
当第2四半期連結累計期間において、9,970百万円の剰余金の配当を行っております。

株式の状況

(2008年9月30日現在)

発行可能株式総数..... 1,100,000,000株
発行済株式総数..... 325,840,640株
株主数..... 22,006名

所有者別株式の状況



【大株主の状況】

株主名	持株数 (千株)
トヨタ自動車株式会社	76,600
株式会社デンソー	29,647
サード アベニュー バリュー ファンド カストディアルトラスト カンパニー	18,576
東和不動産株式会社	15,697
豊田通商株式会社	8,289
日本マスタートラスト信託銀行株式会社〈信託口〉	8,273
日本生命保険相互会社	6,735
アイシン精機株式会社	6,578
全国共済農業協同組合連合会	6,097
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社〈信託口4G〉	5,493

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式14,255千株があります。

株式の状況・会社の情報

会社の情報

(2008年9月30日現在)

設立 1926年11月18日

資本金 804億円

従業員数 連結40,779名、単独12,359名

本社所在地 〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地
TEL (0566) 22-2511 (代表)

取締役

取締役会長	石川 忠司	専務取締役	室 殿 豊
取締役社長	豊田 鐵郎	専務取締役	吉 田 和 憲
取締役副社長	佐藤 則夫	専務取締役	山 田 耕 作
取締役副社長	水野 義勝	専務取締役	関 森 俊 幸
取締役副社長	松浦 達郎	専務取締役	三 矢 金 平
取締役副社長	伊 村 晟	専務取締役	酒 井 博 史
専務取締役	吉 田 成 毅	取締役名誉会長	豊 田 芳 年
専務取締役	加 藤 正 文	取 締 役	豊 田 達 郎
専務取締役	豊 田 康 晴		

監査役

常勤監査役	伊 藤 正 宣	監 査 役	奥 田 碩
常勤監査役	石 川 覚 雄	監 査 役	川 口 文 夫
		監 査 役	渡 辺 捷 昭

執行役員

常務執行役員	竹 中 健 二	執行役員	小 河 俊 文
常務執行役員	加 勢 田 聡	執行役員	池 田 勇 人
常務執行役員	辻 博 文	執行役員	大 西 敏 文
常務執行役員	佐 々 木 一 衛	執行役員	野 崎 晃 平
常務執行役員	森 下 洋 司	執行役員	三 浦 治
常務執行役員	古 川 真 也	執行役員	山 本 卓
常務執行役員	大 西 朗	執行役員	土 本 幸 久
執行役員	山 北 幸 男	執行役員	大 塚 幹
執行役員	小 川 隆 希	執行役員	鈴 木 雅 晴
執行役員	古 田 英 志	執行役員	浅 井 裕 章
執行役員	大 久 保 孝 司	執行役員	伊 藤 天
執行役員	佐 々 木 憲 夫	執行役員	山 岸 俊 哉

◎ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	同送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	6月	同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 本店・全国各支店
配当金支払株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施するときは 9月30日		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		

ご案内

≫ 単元未満株式買い取り制度について

当社の株式は1単元が100株となっておりますので、単元未満株式（100株未満）については市場で売買できません。単元未満株式を所有されている株主の方は、当社に対して単元未満株式の買い取り（当社に対する売却）を請求することができます。所有されている単元未満株式の売却をお考えの場合は、当制度をご利用ください。

なお、株券電子化実施前後は、買い取り請求をお受けできない期間がございます。詳細につきましては三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

≫ 株式に関するお手続きのお問い合わせ先

名義書換、単元未満株式の買い取り請求、住所変更その他株式に関するお手続きにつきましては、当社株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

電話（通話料無料） **0120-232-711**（お問い合わせ）
0120-244-479（各種お手続き用紙のご請求）
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、証券保管振替機構（ほふり）に預け入れられました株券についての諸届およびお手続き等に関するお問い合わせは、お取引先の証券会社へお願いいたします。

〈ご参考〉

株券電子化に関する詳細につきましては、証券決済制度改革推進センターのホームページに掲載されたQ&Aをご参照ください。（<http://www.kessaicenter.com/kaikaku/kabuken10aa.pdf>）

また、株券電子化に関するご質問、ご相談は、「株券電子化コールセンター※」（0120-77-0915通話料無料）までお問い合わせください。

※株券電子化コールセンターは、証券保管振替機構、日本証券業協会、東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。



株式会社 豊田自動織機

愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地 〒448-8671
TEL (0566) 22-2511 (代表) FAX (0566) 27-5650
ホームページ <http://www.toyota-shokki.co.jp/>



この冊子の印刷には、環境に配慮した植物性大豆油インク・再生紙を使用しています。